

項 目		項番	機 能 内 容			
施設 管理 者 機 能	認 証 認 証 管 理	1	各施設の基本情報や予約情報を管理できるマスタIDの付与が可能であるか、同様の機能設定が行えること。			
		2	利用権限の設定は「システム管理者権限」「施設管理者権限」「施設職員権限」等のように最低3階層以上の権限設定ができること。			
		3	各職員単位に管理運用の権限の可・不可を以下の項目について設定できること。 ・マスタメンテシステムの参照・変更・削除可否 ・職員情報の参照・変更・削除可否 ・利用者情報の参照・変更・削除可否 ・予約・設備の空き情報・台帳表示の可否 ・請求・入金処理の可否			
		4	施設管理者ポータルにログインする際、ID・パスワードによる認証を行えること。			
		5	職員パスワードは8桁以上で桁数設定ができること。			
		6	職員パスワードは数字と英文字との混在設定ができること。			
		7	パスワードは画面上で読み取りされないように非表示であること。			
		8	同一IDでのログインや操作を制限できること。			
		9	デジタル証明書による認証を用いたアクセス制限機能を有すること。			
	施 設 利 用 者 管 理	施 設 利 用 者 管 理	10	利用者情報を利用者区分、利用者番号、利用者名、電話番号、メールアドレス、住所、登録日等の条件を指定し、検索して一覧表示できること。		
			11	一覧表示した利用者情報をCSV出力できること。		
			12	一覧表示した利用者をまとめて同一の利用者グループに追加できること。		
			13	一覧表示した利用者に対し、一括して任意のメールを送信できること。		
			14	一覧表示した利用者のうち、該当利用者情報の変更、削除ができること。		
			15	利用者のメール受信設定を行えること。		
			16	利用者の利用停止措置を行えること。		
			17	利用者の有効期間(登録日又は更新日から〇年/月/日後等)や停止期間を設定できること。		
			18	利用者情報に市内、市外等の属性パラメータを持たせ、施設及び施設グループ毎の料金設定等ができること。		
			19	施設利用者登録内容帳票の出力ができること。		
			20	利用者情報と各種減免割増の関連付けができ、施設毎に設定できること。		
			21	施設利用者のパスワードの変更が行える管理者を権限レベルにより設定できること。		
			22	利用者自身でパスワード変更できるよう、パスワード再設定メールを送ることができること。		
			23	施設利用者毎に、施設及び施設グループに対して予約の可否(優先予約を含む)を設定できること。(個人、団体、一般、優先等を利用者情報のパラメータとして持たせられること。)		
			24	施設利用者に設定できる施設及び施設グループに対する予約の許可設定は、管理者画面から設定できるほか、利用者画面から許可の申請をすることができること。		
			施 設 利 用 者 登 録	施 設 利 用 者 登 録	25	施設利用者の施設利用登録情報の登録、照会、変更、登録の抹消が行えること。(登録の抹消は、データの消去ではなく、利用不可とすることのみでも可)
					26	利用者画面から利用者登録があったものを「仮登録」として受け付け、管理者画面からの審査を経て、「本登録」とする設定ができること。

項	目	項番	機能内容
		27	利用者登録完了時は、利用者が設定したメールアドレスに完了通知を送信することができること。
		28	インターネットでの予約を利用しない施設利用者について、ゲスト利用者として利用者登録できること。
		29	ゲスト登録した利用者を、個人又は団体登録に変更できること。
		30	利用者情報の二重登録(新規登録及び更新登録)を防止できること。また、二重登録とみなす条件は変更できること。
		31	住所入力は郵便番号からの参照機能を備え簡素化できること。
		32	施設利用者の登録後、連続して次の施設利用者の登録が行えるよう配慮されていること。
		33	利用者登録情報の各種項目について、追加、変更、削除ができること。また、任意/必須を変更できること。(メールアドレスを任意から必須にする等)
予約管理	予約状況参照	34	空きのある施設を利用目的、施設名、利用日、利用時間、曜日等から検索し、対象施設の台帳画面に遷移できること。
		35	日、週、月毎に施設の予約状況と空き状況が確認できるような画面を設けること。
		36	施設の予約状況について、受付番号、利用者名、利用日、室場、利用目的、備品、審査の状態、収納状態、還付の有無、利用料、実績登録状況等を指定し、一覧表示できること。
		37	一覧表示した予約情報について、受付番号、室場、利用者名、利用時間、利用目的、予約申込日等の入力情報や「仮予約」「本予約」「料金収納済」等の予約状態が判別できること。
		38	一覧表示した予約情報を任意の項目で並び替え(ソート)ができること。
		39	一覧表示した予約情報の各項目の表示、非表示の制御ができること。
		40	一覧表示した予約情報をCSV出力できること。
		41	一覧表示した予約情報を指定し、まとめて帳票出力できること。
		42	一覧表示した予約情報をまとめて利用実績登録できること。
		43	一覧表示した予約情報をまとめて取消できること。
		44	一覧表示した仮予約情報をまとめて審査できること。
		45	審査項目は「許可」「不許可」の設定ができること。
		46	一覧表示した予約情報の利用者に対し、一括して任意のメールを送信できること。
		47	以下に示す範囲の空き状況を表示できること。(台帳画面) ・1施設における施設内全室場の1日の空き状況 ・1施設における施設内全室場の1週間の空き状況 ・1施設における施設内全室場の2週間の空き状況 ・1施設における施設内全室場の1か月の空き状況
		48	室場及び付帯設備の料金を計算し、個々の利用料金と合計料金の表示ができること。
		49	予約の最終更新者が表示できること。
		50	利用者を検索しなくとも、予約の参照において利用者情報の詳細情報を確認できること。
		51	対象の予約の利用者に対し、個別のメール送信が行えること。
		52	予約履歴は、新規予約、変更、審査、取消などすべての処理における履歴(日時・処理ユーザ等)を確認することができること。
		予約管理	予約管理
54	施設をグループ化した単位で1施設利用者当たりの予約数を制限(日、週、月、年)できること。		
55	予約数制限は、対象メディア(窓口、PC、スマートフォン)、曜日、料金項目、利用者区別に設定できること。		
56	予約できる曜日を限定できること。		
57	予約の登録、変更、取消、利用者の付け替えが可能であること。		

項 目		項番	機 能 内 容
		58	管理者画面から予約する際は、利用者情報を指定しない予約も可能であること。
		59	予約の制限がかかっている場合でも、施設管理者の権限で予約の登録、変更、取消ができること。
		60	予約の登録等は、室場を複数の面に分割した単位でできること。また、分割面は、場所を指定できること。
		61	施設に付随する利用可能備品について、同一時間帯に他の室場で予約されている備品数を除いた利用可能個数を予約時に確認できること。また、備品は施設と同時に予約できること。
		62	登録された予約を「仮予約」として扱うことができること。特に、審査を必要とする施設(室場)については、受付によって予約確定とはせず、「仮予約」とできること。
		63	収納(精算)を行うことで、本予約扱いにする設定ができること。
		64	施設管理者が予約の登録(入力)を行っている際、その対象となる室場・コマに対して他から予約が入らないように暫定的にロック(排他)をかけることができること。
		65	誰がロックしているかを確認できること。また、ロックの上書きができること。
		66	施設管理者が予約の過程で、利用者を検索することができ、予約しようとしている利用者の属性や備考情報を確認できること。
		67	1施設利用者からの複数日の予約内容のうち、一部を変更できること。
		68	延長利用の設定ができ、前延長・後延長を選択できること。この時、時間外の延長にも対応できること。
		69	予約の登録について、減免金額の設定ができること。また、複数の日時を選択が可能であること。
		70	利用日の範囲と繰り返し条件(毎日、毎週、毎月(週・曜日)、毎月(日にち)、特定日)を指定し、繰り返し一括予約が行えること。
		71	各室場に付随する付帯設備(備品)の管理、予約等ができること。
		72	予約情報に対して、備品の登録/変更/削除ができること。
		73	施設利用者及び施設管理者に対し、電子メールにより、確定した予約内容の通知ができること。この時、利用者ID、利用日時、利用室場名等の通知ができること。
		74	減免を必要とする室場の予約を登録する場合、登録と同時に減免設定を行えること。
		75	1日の予約状況画面から予約、取消、支払いの各種処理が行えること。
		76	取消処理の際に還付可否判断を職員判断で実施できること。
		77	還付金を他の予約の使用料に充当できること。複数の予約の還付金をまとめて充当できること。
		78	予約毎に備考欄を設け、1日の予約状況画面で確認できること。
		79	付帯設備や備品等の利用料金を領収書に表示するか非表示にするかを設定できること。
		80	季節や時間に応じて、予約時に付帯設備や備品を自動付与する設定ができること。(冷暖房の料金計算等)
		81	CSVファイルのアップロードによる予約の一括登録ができること。
抽選申込管理	抽選申込内容参照	82	予約状況参照(項番34~52)と同一の機能を有すること。
	抽選申込	83	抽選申込内容参照(項番82)で参照した情報から、抽選申込ができること。
		84	施設利用者ID、氏名、生年月日、電話番号、住所等により、抽選申込者を確定できること。
		85	抽選申込確認画面において、予約内容、施設個々の利用料金と合計金額を参照できること。
		86	抽選受付結果と抽選受付番号、抽選申込内容を表示できること。
	抽選申込変更・取消	87	施設毎の抽選申込状況を一覧表示できること。
		88	一覧表示から、抽選申込の詳細情報を表示できること。

項 目		項番	機 能 内 容		
抽選当落選 確認・確定		89	抽選受付番号により申込内容が参照できること。		
		90	施設利用者ID、氏名、電話番号、生年月日、住所等の検索条件により絞り込みを行い、抽選申込一覧及び抽選申込している詳細内容(受付番号、施設名、室場名、日時、利用目的、利用人数、備考、金額等)を表示できること。		
		91	表示された抽選申込内容一覧から、施設の抽選申込の取消ができること。		
		92	施設毎の一覧表示から、抽選当落選状況の詳細情報を表示できること。		
		93	抽選日以降表示された抽選受付内容一覧から、当選/落選を確認できること。		
		94	当選した抽選申込について、申込の確定ができること。		
		95	申込の確定した施設について、施設に付随する利用可能備品を利用可能個数を含めて表示し、施設と同時に予約できること。		
		96	予約確認画面において、予約内容、施設及び備品の個々の利用料金と合計金額を参照できること。		
		97	予約受付結果と受付番号、予約内容を表示できること。		
		98	施設利用者に対し、電子メールにより確定した抽選当選内容の通知ができること。		
		99	設定により当選時に自動で当選確定させることができること。		
		抽選管理		100	あらかじめ設定した抽選日(各室場毎に指定)に、抽選期間中に受け取った申込を自動/手作業で抽選し、当選者を確定できること。
				101	抽選の受付から予約振替までのスケジュールを、各室場毎に設定できること。
				102	必ず当選する優先抽選申込ができること。
				103	室場を複数の面に分割した単位の抽選をする際、ポジションを重複させることなく当選者を確定できること。
104	抽選日に、抽選の必要がないコマについては、抽選申込者全員を当選とし、さらに抽選対象コマに空きのある場合は、先着順受付に切り替えることができること。				
105	当選状態(未確定)のまま、設定期間を経過した当選申込については、自動的に取消処理ができ、その当選申込分のコマについて先着順受付とすることができること。				
106	室場毎に1施設利用者当たりの抽選申込数、年間の当選回数を限定できること。				
107	抽選申込数制限は、対象メディア(窓口、PC、スマートフォン)、曜日、料金項目、利用者区分別に設定できること。				
108	抽選申込できる曜日を限定できること。				
収納管理	収納・還付管理	109	料金の収納及び精算は、現金とオンライン決済の両方に対応していること。		
		110	施設、備品の使用料の収納情報及び還付情報を入力・管理でき、各種使用料金が自動計算されること。(還付情報については取消料率を踏まえた額とする。)		
		111	利用料減免パターンの設定及びそれに対応した料金計算ができること。		
		112	システムによる料金計算を行わず、施設管理者が料金を設定する際は、利用者からの予約時には料金を非表示にすることができ、施設管理者が料金を設定した後は、利用者がオンライン決済を利用できること。		
		113	減免パターンは複数設定でき、率による減免だけでなく、額による減免にも対応していること。また、減免パターンの名称を管理できること。		
		114	以下の種類の加算・減免を施設毎に管理できること。 ・減免区分 ・利用者属性(団体属性等)による減免の措置		
		115	利用日を基準とした収納状況を検索し、一覧表示できること。		

項	目	項番	機能内容
		116	還付手続が終了した予約及び還付手続が未済の予約を、一覧表示できること。
		117	日々の入出金を一覧表示できること。
		118	一覧表示した収納状況、還付状況、入出金状況などの各種情報は、CSV出力できること。
		119	雨天取消や利用者都合ではないキャンセル等について、利用者の未還付金を別の利用料支払に当てることができること。(充当できること。)
		120	過去に予約取消を行い、利用料の還付を行う必要がある利用者の収納管理を行う際に、還付対象者及び還付金額を表示させること。
		121	予約変更(備品・延長利用含む)時の差額について、増額時は差額分のみを未収納とする。減額時は差額分の取扱い(還付、キャンセル料徴収等)を選択できること。
		122	施設使用料の上限・下限設定ができること。
		123	利用人数別の料金設定ができること。
	オンライン決済	124	オンライン決済が行われた予約は、システムにリアルタイムで自動消込処理が行われるなど、自動連携機能を有すること。
		125	コンビニ決済に対応していること。
		126	クレジットカード決済に対応していること。
		127	クレジットカードのブランドは、VISA/Mastercard/JCBのうち、いずれか1つ以上は対応していること。
		128	項番127に記載のあるブランドのいずれか1つは、3.1%程度の決済手数料であること。
		129	バーコード決済(PayPay)に対応していること。
		130	項番129は、3.5%程度の決済手数料であること。
		131	オンライン決済は施設毎に利用有無を選択できること。
		132	オンライン決済の種別(コンビニ・クレジットカード・バーコード)は施設毎に利用可能種別を設定できること。
		133	オンライン決済の利用にかかる手数料(振込先設定費、利用手数料(トランザクション・クレジットカード利用料等)、コンビニ決済の収入印紙等)は、施設の収納金と相殺することなく、別途請求できること。ただし、システムオプションとして、構築時に発生する費用は本調達の費用に含める。
		134	オンライン決済の利用に係る請求書の宛先・金額は、振込先別に分けることができること。
		135	オンライン決済の締め日は月1回以上設定できること。
		136	オンライン決済収納金は、月1回以上指定した口座へ振り込むことができること。
		137	振込先口座は施設の管理者別に複数設定できること。
		138	振込金額は各施設の実績に応じた金額とすること。
		139	オンライン決済の利用実績(利用日時、決済額、決済種別、収入印紙フラグ等)をCSVファイル等でダウンロードできること。
		140	オンライン決済の利用実績は、振込先・日時に範囲を指定できること。
		141	オンライン決済の利用実績は、利用取消(返金)を含めて確認することができること。
	実績・統計管理	142	日別に利用予定の表示ができること。
		143	収納状況、減免・割増状況、還付状況の表示ができ、CSVファイルとして取得できること。
		144	予約、抽選、精算、実績データを様々な条件を指定し、CSVファイルとしてデータ抽出できること。
		145	予約データ抽出において、管理者が予約登録をした際に設定したイベント名での抽出が可能であること。
		146	利用者画面で各施設の空き状況がどれだけ参照されたかをメディア別(PC、スマートフォン)にCSVファイルで取得できること。
		147	施設管理者による予約数及び利用者画面からのメディア別予約数をCSVファイルで取得できること。

項	目	項番	機能内容	
		148	予約データの集計として、日別予約申込件数、月別予約申込件数、日別利用件数、月別利用件数を利用者区分、申込メディア、利用目的別に集計したExcelファイルを出力できること。	
		149	抽選データの集計として、日別抽選申込件数、月別抽選申込件数を利用者区分、申込メディア、抽選状態別に集計したExcelファイルを出力できること。	
		150	精算データの集計として、日別収納還付額、月別収納還付額を集計したExcelファイルを出力できること。	
		151	利用者データの集計として、日別利用者登録件数を利用者区分、登録者区分別に集計したExcelファイルを出力できること。	
		利用実績入力	152	予約システムに反映されない利用実績(人数、金額等)を日々入力できること。また、人数の内訳項目は施設毎に定義できること。
			153	利用不能(天候や施設都合等)の場合の実績を入力ができること。
			154	実績利用金額の入力により、差額の収納及び還付が行えること。
			155	登録した実績データは、実績区分、受付番号、利用日、利用時間、申込日、室場、利用目的、請求額等を指定して検索し、一覧表示できること。
	156	一覧表示した実績データをCSV出力できること。		
	帳票出力	帳票出力	157	PDF帳票として、以下の帳票を出力できること。 利用者登録情報、抽選申込表、抽選申請書、使用申請書、使用承認書(許可書)、利用予定票、変更申請書、変更承認書(許可書)、減免申請書、減免決定通知書、取消申請書、取消承認書(許可書)、還付申請書、還付決定通知書、予約一覧表、請求書、督促状、領収書、合計領収書、還付領収書、還付合計領収書、利用明細書
			158	施設毎に、各帳票のレイアウトや項目名を設定できること。また、施設独自にフリー項目として追加設定した予約時の入力項目を帳票に印字できること。
			159	複数予約番号を1枚の申請書及び承認書に出力できること。
			160	異なる利用者の帳票を一度の操作で複数指定し、出力できること。
			161	領収書の分割発行(差分の領収書発行)ができること。
			162	インボイス制度に対応した帳票の発行ができること。
			運用管理	祝祭日・スケジュール登録
164	スケジュール登録は、日単位だけでなく、時間単位で設定できること。			
165	スケジュールパターンとして、特定日、毎年日、毎月日、曜日、第何週曜日から指定して一括登録できること。			
166	すべての予約を受け付ける前に祝日・休館日等の設定を行えること。(未来5年以上の設定を可能とすること。)			
167	期間内で全館又は施設毎に休館日、祝日の設定が一括で行えること。			
168	一括休館設定の際に、休館設定日が祝日の場合、休館日を翌日に自動的に振り替えることができること。(振替しない設定も可能であること。)			
169	カレンダーは最新の祝日情報が反映されていること。			
お知らせ登録	170	施設利用者へのお知らせの登録ができること。		
	171	お知らせは期間の設定ができること。		
操作ログ	172	施設利用者及び施設管理者のシステム操作ログを収集し、検索照会できること。		
施設管理	室場情報設定	173	室場毎に、利用目的の設定ができること。	
		174	面分割を行う室場について、分割面毎に利用者からの予約を可能とするかどうかの設定ができること。	
	申込方法設定	175	室場毎に、申込方法(抽選予約、優先予約、随時予約)の設定ができること。	
	制限設定	176	室場毎に、予約の取消受付期間を制限できること。また、その期間毎に取消料率を設定できること。	

項	目	項番	機能内容
		177	室場毎に、予約の取消受付可能なタイミングを設定できること。(抽選後、審査承認後は取消不可等)
		178	1日、1週、1か月、1年における抽選及び予約の申請数を制限できること。
		179	最大連続利用時間を制限できること。
		180	随時、予約の受付期間(月及び時間)を制限できること。
		181	休館日当日における施設利用者からの予約を制限できること。
		182	施設利用者からの複数一括予約を制限できること。
	施設マスタ保守	183	施設及び室場の登録/変更/削除ができること。
		184	付帯設備、備品の登録/変更/削除ができること。
		185	施設を地域別に管理できること。
		186	予約受付開始/終了期間、予約取消終了期間を定義できること。
		187	予約受付開始/終了期間は、月及び時間等にて指定できること。
		188	施設マスタ保守の各種設定に、設定日を設定する機能を持たせて、料金設定、閉開館時間、利用種目等の適用開始日からの変更を可能とすること。
		189	施設、付帯設備、備品毎の使用料、還付率、減免の設定ができ、個別に修正できること。
		190	施設、付帯設備、備品毎の料金設定を1時間単位の時間枠で設定できること。
		191	施設毎に複数の料金を管理できること。
		192	料金改定の際等に、事前に料金の変更ができる機能を有すること。また、即時に料金の変更も可能であること。
		193	施設(室場)の貸出時間割・料金設定について、曜日毎に異なる貸出時間割・料金設定を、複数の曜日を一括で同じ設定にできること。
		194	施設の名称、住所、案内図、外観、室場名、利用種目、施設内容、料金体系、閉・開館時間など利用者に公開すべき施設の案内情報を設定できること。
		195	施設毎または室場毎に、施設の閉・開館時間、休館日を設定できること。また、季節変動等に対応できること。
		196	登録した休館日等は、カレンダー表示に反映できること。
		197	施設の室場毎に、公開区分(非公開、案内情報のみ公開、空き状況まで公開、抽選申込まで可、予約受付有等)の設定ができること。
		198	施設・室場・備品等について、メディア(インターネット・業務)への公開レベル設定ができること。
		199	施設の室場毎及び室場の分割面毎に施設の利用目的を設定できること。
		200	施設の室場毎に貸出し単位(面分割の有無、時間、時間帯)の設定ができること。
		201	施設の室場毎に予約受付期間、本予約期限等を設定できること。
		202	施設の室場毎に予約受付開始、終了時間を設定できること。
		203	施設、付帯設備ともに、1日を最小で30分単位、最大で1日単位の時間枠で設定できること。(コマが細かくなり管理しづらくなる可能性を許容すれば、30分以下も設定可能であること。)
		204	施設の室場毎に抽選有無(有の場合、抽選期間、抽選日、確定期間)を設定できること。
		205	割増、減免区分(時間外、プロ/アマ、有料/無料、地区内/外、特定目的、福祉、準備・撤去等)がある場合は、その区分と適用範囲を設定できること。
		206	付属設備の名称、使用可能施設・期間等の設定ができること。
		207	備品の名称、在庫、使用可能施設の設定ができること。
		208	複数種類の備品をセット備品として管理できること。
		209	予約時間枠、時間帯枠毎の料金設定ができ、その併用ができること。
		210	休日、夜間、季節、施設利用者区分別の料金設定ができること。

項 目		項番	機 能 内 容
		211	割増、減免区分毎の料金及び料金割合が設定できること。
		212	既定の利用時間を越えた延長使用の場合の料金設定ができること。
		213	付帯設備・備品の料金設定ができること。
		214	設定する料金は、時間単位の使用料金に対応できること。(30分の利用でも1時間の利用でも、1時間の料金が適用させられること。)
		215	優先の受付期間及び料金を複数設定できること。
		216	料金は税込表記とすること。
		217	優先の受付期間を一般利用者に空き状況表示するかどうかの設定ができること。
		218	施設利用者からの予約時、予約コマ単位を設定できること。(30分毎の時間設定の場合、4コマ2時間単位での予約に制限する等)
		219	月末の応当日(予約開始となる日)を月初とするか、月末とするか設定できること。(3か月前に予約を開始する場合、7月31日に対する予約の開始日を4月30日(月末)とするか、5月1日(月初)とするかを設定できること。)
		220	応当日の予約開始時間を設定できること。
		221	予約処理(登録/変更/取消)及び審査処理を行った結果を通知するメールの件名、本文を施設毎に設定できること。
		222	予約処理(登録/変更/取消)及び審査処理を行った結果を通知するメールの送信有無を選択できること。
		223	空き情報を、施設の開館時間に限り、公開する設定ができること。
		224	予約画面において入力する利用目的を、設備毎に任意で設定できること。
		225	管理者が予約する場合のみの利用目的を設定できること。
		226	施設毎に、減免を適用した際の端数処理が設定できること。(繰上/切捨/四捨五入/五捨六入/境界値以下捨超入、1円単位/10円単位/100円単位)
		227	1つの予約に対し、割増区分を4つ以上適用できること。
		228	減免及び割増の計算方式として、割増後の料金から減免額を計算するか、減免後の料金から割増額を計算するか、基本料金から個別に減免額と割増額を計算するかを施設毎に設定できること。
		229	複数の付帯設備及び備品を予約するとき、個々の付帯設備に減免や割増を適用してから料金を合計するか、全ての付帯設備及び備品の合計額に対して減免や割増を適用するかを施設毎に設定できること。
		230	利用者の予約確認画面において、利用料金を表示するか非表示にするか室場毎に設定できること。
		231	付帯設備の予約開始時間及び予約終了時間が1分単位で設定できること。
		232	加減算・減免など設定項目に対する独自の料金名称が設定できること。(高校生料金、市民利用料金、スポーツ以外利用料金、照明時間帯料金の加算等)
		施設管理者情報	
234	組織の基本情報登録、変更、削除が行えること。		
235	指定管理者の基本情報登録、変更、削除が行えること。		
236	組織及び指定管理者に所属する施設管理者を管理できること。		
237	組織及び指定管理者に属する施設を管理できること。		
その他	その他	238	施設管理者に対し、利用者からの予約時など、各処理の段階で、電子メールで処理内容の通知ができること。その際、メール本文等に、予約内容(利用者ID、予約日時、予約施設名等)を表示させること。
		239	操作マニュアルを随時参照できること。
		240	操作説明動画(研修用動画)を随時参照できること。

項 目		項番	機 能 内 容		
施設利用者側機能	利用者認証	241	登録済みの施設利用者が、ポータルにログインする際、ID・パスワードによる認証を行えること。		
		242	パスワードは画面上で読取されないように非表示であること。		
		243	同一IDによるログインや操作を制限できること。		
		244	無操作で一定時間経過後、自動ログアウトされる設定ができること。		
		245	複数回のログイン失敗でのアカウントロック等の制限に対応していること。		
		246	利用者認証後には、利用者の登録名が表示されること。		
		247	利用者登録の際、マイナンバーカードによる公的個人認証が行えること。		
施設予約	施設案内 ・空き状況参照 ※この項目については、施設利用者認証なしでも利用可能とする。	248	施設の案内を参照できること。(施設画像、利用案内、アクセスマップ、料金体系、施設からのお知らせ、問い合わせ先等)		
		249	施設の空き情報(抽選受付、先着受付、予約済、空きあり等)、休館及び利用不可の情報を室場(貸出し最小単位)毎に参照できること。		
		250	施設の空き情報は、表示の色を変えるなどして「空きあり」「予約済」「受付前」など予約状況毎に区別できること。		
		251	施設の空き情報は、全ての地区の情報を横断的に閲覧できること。		
		252	地区、自治体、利用日、時間、曜日、週、施設名、利用目的、ネット申込の可否等により、空き情報を横断的に検索参照することができること。		
		253	電話で予約受付をしていない(空き状況のみ公開している)室場は、その旨を表示できること。		
		254	カレンダーの日付を選択することにより、選択した日付の空き状況を直ちに表示できること。		
		255	以下に示す範囲の空き状況を表示できること。 ・1施設における全室場の1日の空き状況 ・1施設における各室場又は施設内全室場の1か月の空き状況 ・1施設1室場における2週間の空き状況 ・複数施設、複数室場(選択可)における1日の空き状況比較		
		256	選択した複数の施設室場間の空き状況が表示できること。		
		257	空き状況照会画面上に、施設からのお知らせやイベント情報などを表示できること。		
		258	コマに対する抽選申込数が確認できること。		
		利用者情報登録・変更		259	利用者がインターネットで利用者情報(小団体・一般団体等)登録を行えること。
				260	利用者がインターネットで利用者情報変更を行えること。
261	利用者がインターネットで利用者情報削除を行えること。				
262	利用者がインターネットで利用者情報の内容を確認できること。				
263	利用者がインターネットでパスワードを変更できること。				
264	利用者がインターネットでメールアドレスを変更できること。				
265	ログインID亡失時において、メールアドレス等の入力により、登録情報と一致した場合はログインIDの通知ができること。				
266	パスワード亡失時において、メールアドレス等の入力により、登録情報と一致した場合はパスワードの再登録ができること。				
267	利用者登録時、ログインIDについて任意の文字列を指定できること。				
268	利用者登録時、利用規約や注意事項を表示できること。				
269	メールアドレスによる認証を経て利用者登録や変更を行えること。				
予約等機能		270	利用者自身で各種メールの受信設定が行えること。(抽選申込通知は受信しないが当選メールは受信する等)		
		271	独自の利用者項目の設定が可能なこと。		
		272	空き状況参照(検索、一覧、カレンダー等)で参照した情報から、予約ができること。(連続して行う予約、同一利用者が頻繁に行う予約については、通常より簡便に入力できること。)		

項 目		項番	機 能 内 容		
		273	複数の室場、時間帯、利用日に対し一括して予約ができること。		
		274	1日を最小30分単位の時間帯で予約できること。(施設側の設定次第で30分以下も可能であること。)		
		275	過ぎた日程の予約は入力できないこと。		
		276	利用目的、利用人数、支払方法を指定できること。		
		277	予約した施設に付随する利用可能備品、利用可能個数を含めて表示し、施設と同時に予約できること。		
		278	予約受付結果、受付番号及び予約内容を表示でき、予約時間は開始時刻と終了時刻が表記されること。(例 9:00~10:00)		
		279	空き状況のみ公開して予約できない室場は、予約画面に遷移できないこと。		
		280	予約確認画面では、室場個々の利用料金と合計料金を表示すること。(料金を非表示とし、代わりに外部リンクを設置できること。)		
		281	管理機能として設定された予約回数制限等が適用されること。		
		282	室場を複数の面に分割した単位の予約ができること。		
		283	室場を複数の面に分割した単位の予約をする際、ポジションの重複がある面を複数選択していた場合、予約ができないこと。		
		284	頻繁に利用する施設の空き状況参照画面をお気に入り登録できること。		
		285	過去の予約参照機能から、その施設への予約を簡便に行えること。		
		286	予約時に過去の予約の複写ができること。		
		287	予約完了前に施設利用に当たっての注意事項を表示できること。		
		288	表示された注意事項に同意しないと申込が行えないこと。		
		289	施設毎に設定したフリー項目(自由な入力枠)を入力できること。		
		290	予約完了時、予約審査がある場合はその旨が表示されること。		
		291	電子メールにより、予約内容を利用者及び管理者に通知できること。		
		292	初めてシステムを操作する利用者には、各所でヒントを表示し、操作方法やアイコンの意味合い等の案内を表示できること。		
		293	スマートロックとの連携により、電子錠の解錠のための暗証番号が通知されること。		
		予約内容参照 ・変更・追加		294	施設利用者が予約している内容(施設名、室場名、日時、利用目的、利用人数、使用備品、備考、金額等)を表示できること。
				295	予約内容一覧は、予約の状態(仮予約、本予約、取消等)、申請日、利用日、施設等での絞り込み、並び替え(ソート)できること。
				296	予約内容一覧から予約の詳細情報を表示できること。
				297	表示された予約内容一覧から、予約の取消ができること。
				298	施設側で指定した申請書、許可書等の帳票をダウンロードできること。
				299	過去の予約・利用状況等を参照できること。
		抽選申込	抽選申込	300	抽選を行う室場を予約する場合に、抽選申込ができること。
				301	利用目的、利用人数を指定できること。
				302	抽選受付結果と抽選受付番号、抽選申込内容を表示できること。
303	複数の室場、時間帯、利用日に対し、一括して抽選申込ができること。				
304	管理機能として設定された抽選回数制限等が適用されること。				
305	電子メールにより、抽選内容を利用者に通知できること。				
抽選申込内容 参照・取消・追加		306	施設利用者が抽選申込している内容(施設名、室場名、日時、利用目的、利用人数、備考等)を表示できること。		
		307	表示された抽選申込内容一覧から、施設の抽選申込の取消ができること。		
		308	表示された抽選申込内容一覧から、施設の追加抽選申込ができること。		
		309	抽選申込内容一覧は、抽選の状態(抽選待ち、当選、落選等)、申請日、利用日、施設等での絞り込み、並び替え(ソート)できること。		
		310	抽選申込内容一覧から抽選の詳細情報を表示できること。		

項 目		項番	機 能 内 容	
	抽選当落選確認・確定	311	抽選日以降表示された抽選受付内容一覧から、当選/落選を確認できること。	
		312	当選した抽選申込について、申込の確定ができること。	
		313	申込の確定した室場について、室場に付随する利用可能備品を利用可能個数を含めて表示し、室場と同時に予約できること。	
		314	当選予約確認画面において、予約内容を参照できること。	
		315	予約受付結果と受付番号、予約内容を表示できること。	
		316	電子メールにより、確定した抽選当選内容の通知ができること。	
		317	設定により、当選時に自動で当選確定させることができること。	
	その他	その他	318	システムメンテナンスや施設からのお知らせを掲示できること。
			319	施設において実施するイベント等の広報ができること。
			320	システムからの自動通知メールや施設からの個別メールをメッセージ画面で確認できること。
			321	施設利用者機能は、スマートフォンからも実現できること。(ただし、携帯電話(フィーチャーフォン)は不可)
			322	PC、スマートフォン、タブレット等、どのような端末でもシステムが自動的に画面幅を調整し、最適な画面構成で利用できること。
			323	利用者が簡易で理解しやすいオンラインマニュアルが存在し、掲載できること。
			324	「JIS X 8341-3:2016 高齢者・障害者等配慮設計指針—情報通信における機器、ソフトウェア及びサービス—第3部:ウェブコンテンツ」の「レベルAA」に準拠できること。